



匝瑳市と八街市で出前あすなろ塾を開催しました。匝瑳市では「集団を育てる」と「分かる・できる授業づくり」を、八街市では「保護者との関係づくり」と「生徒指導の機能を生かした授業づくり」をテーマとした研修を行いました。

受講された先生方は、日頃の実践を紹介し合ったり、悩みを共有し合ったりして、非常に熱心に研修に取り組んでいました。

匝瑳市(令和6年7月22日)

当日の様子と 参加者の声



教員だけでなく、子供たちと教員でクラスの課題に向き合い解決していくことが大切であると実感しました。困った時は先生方だけでなく、子供たちにも頼り支え合える教員を目指したいと思います。



好ましい人間関係や規範意識について、日々悩んでいることについて学ぶことができて本当に良かったです。



「学級＝生活・学習の基盤」であることを心に留め、学級経営をしたいと考えます。分かる授業に向けて日々の教材研究はもちろんのこと、まとめ上げる活動により思考を促したいと思います。

八街市(令和6年7月23日)

当日の様子と 参加者の声



学校種も採用年数も違う先生方と意見を交換することができて学びになりました。狭い視野だったものが、少しずつ広がって行く感覚がありました。



まだ1年目ということもあり、やはり保護者との関わり方で悩みがありました。今回の研修で学んだことを活かし上手に信頼関係を築いていけたらと思います。



普段何か問題で名前が上がる児童や、先生の近くに来てくれる児童に目が行きがちですが、全ての児童が大きな問題になる可能性があるという思いで対応していくことが大切であると学びました。